

日本クリスチャン・アシュラム連盟  
Founded by Eli Stanley Jones

夏 季 号



# 日本アシュラム

SUMMER 1987

United Christian Ashrams of Japan

59

開 心 ・ 静 聴 ・ 充 満 ・ 献 身 ・ 奉 仕



## 中国人の教会

福 島 教 会  
芦 名 直 道

▼連盟は創始者の祈りによって各地に生れたファミリーの全国的な交わりであって、常に新しい地区(単位)の参加を期待している。

太平洋エキュメニカル宣教会議が  
廣洲市で開催されて、中国の教会の  
一端にふれる機会を得た。兼々聞き  
及んでいたとはいえ、その驚異的な  
発展に接して、我が身の信仰や教会  
の伝道を色々と考えさせられた。

中国のキリスト教徒の総数は仲々  
つかめないと多くの見積もる人  
は八〇〇〇万人と言う。何れにして  
も日本の信徒が全人口の1%に過ぎ  
ないのに比較すると大変な数で多分  
六%から八%にも及んでいよう。か  
かる伝道の進展は一朝一夕でなし得  
たのではない、何度かの挫折を経て  
自らの信仰が純化され、伝道が浸透  
して行ったと見るべきだろう。

中国にキリスト教が伝わった最初  
は唐代六三五年の景教(ネストレ派)  
であって、これは唐代末期に消滅し  
た。それからカトリックのフランシ  
スコ派で元朝の一二九三年に入り、  
元朝だけで消えた。次にイエズス派  
が明朝の一五八二年に伝来し、清朝  
の一七二三年に一時消え、一八六〇  
年に再び伝道を始め今日に及んで  
いる。プロテスタントは清朝の一八  
〇七年に伝来した。ですからキリス  
ト教の中国伝道は再三挫折している。

その原因は色々あるが最も大きい  
ものは西洋人の宗教だと思われた点  
にあった。

中国の教会は事実一八〇〇年代ま  
では宣教師中心の時代であった。一  
九一〇年代年末から「本色教会」運  
動が起る。本色教会とは中国人の教  
会という意味である。それまで教会  
が余りにも西洋的な匂いがあったの  
で、あれは外国の宗教、中国人は何  
も外国の神を信じる必要はないと排  
斥されていた。そこで中国人によっ  
て教会を運営し牧師を任命し、教会  
建築も中国様式を取り入れ中国人の  
作曲した讚美歌を多く用い、聖画の  
人物も中国人の顔と服装にした。中  
国人の祭や行事も、内容をキリスト  
教化してある程度取り入れた。特に  
西洋の教派主義は困ると云うので中  
国人の一つの教会を目指す超教派運  
動が盛んになった。かゝる中で一九  
四九年に共産革命を迎えた。

共産革命は中国人の自主と独立を  
もたらしたが文化革命の一〇年はキ  
リスト教に対する迫害が強かった。  
かゝる中で本色教会運動は三自(自  
活、自養、自伝)愛国運動へと発展  
した。そして聖書にキリスト教の根

本を問いなおそうとCCC運動(信  
徒の神学運動)が生れた。他方迫害  
によって教会は閉鎖され、牧師・長  
老は下放到会い農村で労働に服し、  
聖書、さんびか類は皆焼き払われた。  
かゝる中で「家の教会」が育った、  
それは牧師も会堂も聖書もないま、  
信徒の家庭で定期的に礼拝を守った  
使徒行伝時代の教会そのまゝであつ  
た。やがて政権が交替し開放政策が  
しかれ会堂は返還され礼拝が再開さ  
れた。今日全国に五〇〇〇の会堂を  
有する教会と一五の神学校が再建さ  
れて活動している。しかしそれ以上  
に農村各地に誕生した家の教会の存  
在が大きい。政府に登録されている  
数は三万だが未登録のものが三〇万  
を越えると云われる。

社会主義諸国では概して従来のよ  
うな伝道方法は通用しない、即ち大  
きい会場で行う大伝道集会、また看  
板やポスター、チラシによる宣伝、  
ましてや電波による伝道が禁止され  
一八才未満の者に対する宗教教育も  
禁じられ従って日曜学校は存在しな  
い。それにも拘らず伝道は進展し、  
革命前の信徒の何十倍もの信徒に膨  
脹した。その原因は中国人の信仰の  
純化にある、それが教派を解消させ  
て中国人の一つの教会を生み、会  
堂と牧師中心の教会を脱皮して家を  
核とする信徒の教会を育てた。今や  
中国人の教会はアジア伝道の希望と  
なっている。

理事長 淵老沢宣道  
編集人 江石 嗣一  
発行人 大 淵 淳  
定価 一部 60円  
T 60円

## 「中国途上のキリスト」

日本クリスチャンアシュラム連盟

総務理事 大石 嗣 郎

今年の五月と六月と二度に亘って渡中する機会を得ました。そしてその間、三つの中国を見た。具体的に申しますと、香港（澳門）の中国、大陸の中国、台湾の中国をそれぞれ見て、長い歴史を持つ中国の現況を学んだ。

最初の中国の旅は、第十二回太平洋エキメニカル平和会議を中国大陸内で学ぶため一行二十八名の随員の一人として参加した。二度目は香港一日アシュラムを香港日本人キリスト者会（島隆三牧師）と一行十八名が、在中日本人と合流して行った。その時、香港を中継地として通過を余儀なくされることによって、この地のりが中国の要であるばかりでなく、東南アジア諸国のこれからの伝道の戦略にとっても重要な地点であることに気付いた。一国で十一億人の人口を持つ国は中国以外に世界のどこにもないことです。この莫大な中国大陸は色々な面においてバイタリティーと潜在力を秘めた国土であり、国民であることです。しかも中国におけるキリスト教の伝道は今から一八〇年前にイギリス人伝道師ロバート・モリソン師が開いて一八〇七年はじめて現ポルトガル領「マカオ」

に最初の開拓者となり今は静かにマカオ教会の教会墓地に静かに眠っていることを忘れてはならない。従って過去において、現在も形こそ変えられてはいるものの諸外国の献身的宣教師たちによって着々と伝道戦線が拡大されつつある。

今年の秋には南京に近代的な聖書印刷工場建設のため世界中のキリスト者（日本聖書協会募金実行委員会）によって十三億円が募られ、すでに日本側の分担金一億円も目標金額にほぼ達成しようとしている。このことは中国におけるキリスト教活動としては画期的なこと、当初の年間発行部数二十五万部が印刷され、中国共産政府指定書店を通して販売が許可されている。しかし五百万人（公称三百万人）と言われている中国クリスチャンに手渡される数量としてはとても及ばないまでも、この十年の間に返還を予定されている借地（香港、澳門）をめぐる中国キリスト教界は一大異変が起ることは間違いない。

中国大陸は現在のところ一応、社会主義国家群に属するが、過年よりキリスト者平和会議（CPC）の随員として平和会議に屢々列席する中

で感じることは、オーソドックス（正教）を中心とする（例えば、ロシア正教・ギリシア正教、ルーマニア正教、ブルガリア正教など）今一つのキリスト教群が私たちの世界キリスト教界に欠けており、将来にその群れとの対話或は連携が一層必要となってくるものと思う。更に政治的区分をされている非同盟国群の中には、私たちが現在でもキリスト者交流をしているようなインド、ルーマニア、アフリカ諸国との交流が必要になってくることを覚えることです。

私の居住する目黒区（人口25万人）のことを申しますと、十年前にすでに一昨年故人となられた殿谷勝雄住職（祐天寺）の提昌により結成された「宗教者懇話会」通称（お粥会）を毎月五日早朝七時より一時間間に、寺の境内の建物において現在も続けている。この種の宗教者の集いは全国又は都内においても、しかも年間計画を自主的に行っているのは稀れである。毎回区内宗教者の話し合いばかりでなく、宗教者の呼びかけによって各種企業者による「各種団体懇話会」も組織される年四回の集いもこれと並行して行われている。会の目的は宗教者によって区内を明

るくするため公的機関と協力することによって、キリスト教（カトリック、聖公会を含み）仏教、神社、立正佼成会、天理教、生長の家、その他の合同による交通事故犠牲者慰霊祭及び運転者無事安全祈願を各宗派の担当によって行っている。又、宗派を超えた文化講演会を開いている。毎回宗教者が集う時、お粥をすすりながら各人のほらわたのそこまで温まり、清められて活発な意見交換が和気藹々の中に行われている。もう一つの特色として他の宗教者の集いの中で見られないように、お粥の食前祈禱が各宗派の輪番制で行われていることです。これは各宗派の祈りのスタイルが一派に偏することを避けるためである。

この一連の活動は、私の以前より持っていた理想をS・ジョンズ師に直接影響をうけ、或は同師の書いた著書の中で特に「インド途上のキリスト」によってその実践に一層強い確信を持つに至った。キリスト教の間でよく耳にする排他的に聞こえる二つの宗教用語がある。それは偶像礼拝と異端である。双方ともキリスト教を優越した宗教に持ち上げるのに役立つことがあっても、むしろ伝道の妨げになっており、S・ジョンズ師が宗教的因習や風俗習慣を超えてインド人を如何にしてキリスト教信仰に導いたかを謙虚に学ぶ必要がある。



# 大石嗣郎師

## アキノ比大統領

### と会見

#### 写真説明

平和ならしむる者は  
さいわいである。

大石師は日本総合商社マニラ支店長の誘拐が報道機関を通じて発表される約一週間前の三月一九日午後四時、マラカニヤン宮殿にてアキノ大統領との謁見を許された。(上掲写真)  
これは表向きはアジア協会、アジア友の会副会長の資格として、カリビ一復興基金の設置が目的であったが、同時に、日比宗教者若王子救出委員会の密使としての役を務めた。感謝と激励の励ましとして、聖書イザヤ書第四十九章一七節引用の「破壊者は建設者を凌駕せず」を書き添えた銀鶏の絵を画いた巻物と王朝風の女性の貼絵画像が贈呈された。尚、シン枢機卿の功績をたゝえるため来年の秋に予告している日本招聘の計画に奔走している。

以上は大石師がスタンレー・ジョーンズ博士の遺志を継いで、昔学徒動員で負傷しながらもその英語力を生かして多数の敵味方を救った経緯をもとに戦没者追悼の意味をこめて体育館を贈呈した平和ならしむる働きの延長として実現したものである。このように右頁における他民族のクリスト者との連携と、他宗教者達との対話と親交、さらに世界を平和ならしめる努力はみなスタンレー・ジョーンズ博士の信仰の遺産に基くものであり、たゞ「イエスは主である」との御霊の信仰の発露である。

(湧江)

## 「印度途上のキリスト」 を読んで

安行教会

千葉 泰子

一切を私共に与え給うたように、一切を私共に要求し給うキリストに全人格をもって、全存在を明け渡した人、スタンレー・ジョーンズ博士の迫力には、たゞたゞ圧倒されます。かつて支配的な立場であった西欧文化、キリスト教会に対する強い偏見と同時に、それ故にこそ、霊的に鋭い感受性を持つインドの人々に対し、その伝統的な国民性を信頼し、尊重し、そこから学びとり、そして共に生き抜かれた博士の中に、神のものであるキリスト、キリストのものである博士、そして「神の栄光」をはっきり示されます。

インド途上の、各地途上の福音宣教の裏には「われわれが、その状態に入れ得るキリストらしき要素の多寡にかかっている」といわれているが、すでに六十年以上も前に書かれた著書が、今なお、キリスト教会、キリスト者個人へのきびしい問いかけとなり続けているのではないのでしょうか、こゝに初めて博士に触れ、又、アシュラムにも無知な私ですが、たゞ「イエスは主なり」とお従いできるようにと願うばかりです。

(四) 神の国の体験と献身  
(五) 教会への奉仕と伝道

スタンレー博士に親しく指導を受けた著者がアシュラムの五大原則と守り方を平易に解説。

### 最新刊好評

スタンレー・ジョーンズ博士の処女作  
忽ち世界各国でベストセラーになった

## インド途上のキリスト

金井為一郎元訳 湧江淳一新訳  
美装幀 B 6判 250頁 価1900円 ㊦250円

若干23才で英国統治下のインドに単身赴任。60年余の生涯を献身し、現代のパウロと称された博士が、主イエスから啓示された奥義は何であったか。

新刊好評  
サトタル・アシュラム指導者  
D・P・タイタス著  
植村俊雄 訳

## 「御国を来らせ給え」

神の国に就ての研究

A 6判40頁定価二百円㊦70円  
スタンレーの後継者インドの  
タイタス師の名著

各地ニュース

報告 香港アシュラム

湘江千代子

島隆三牧師のお招きにより、私共一六人はビルの九階の礼拝堂に上って行きました。直ちに島牧師司会の準備祈禱会が開かれ、次いで藤田一郎兄司会で海老沢師の「イエスは主である」の題名のもとに「開心にふさわしい御言とアシュラムの歴史と精神を学び、昼食の交りの後向山師により、ヨハネ伝のピリポとナタナエルの空け渡し献身の箇所を静聴し、五つの細胞に分かれて祈りました。聖書の時は、マタイ四・一八以下、シモンとアンデレ、ヤコブとヨハネが一切を捨て主に従った奥山師の体験に学び、大石師担当で充満、恵まれたアシュラムを終わりました。香港教会は各種企業社員も多く、日本クリスチャン



・フェローシップの名にふさわしく超教派的、超国境的伝道の拠点として重要な役割を果たす使命を持っていると感じます。

◆集會予告◆

▼関東アシュラム(第二五回)

九月14(月)ー15(敬老)ー16(水)日  
主題 「イエスは主である」  
助言者 神山良雄師

会場 奥多摩 古里福音の家

申込先 12 文京区白山二一三七一九

〒112 小石川白山教会新原迎師

電話〇三(八一六)一七九七

十一月三日(文化の日)

午前十時ー午後四時

於 日本基督教団石神井教会

▼四国アシュラム

九月一四日(月)ー一五日(敬老)

海老沢宣道師を助言者として迎え

新装の松山済美会館にてアシュラムを行います。

▼九州アシュラム

一〇月一八日(日)ー一九日(月)

海老沢宣道師を迎えて開きます。

▼北海道アシュラム

一二月二日(月)ー三日(火)

助言者 金 元治師

会場 北海道クリスチャンセンター

▼第七回 国際アシュラム

一九八八年五月一三日ー二二日

会場 ソウル・オリンピックホテル

主催者 南山メソジスト教会

ビヨング・ホン・ハンサン博士

◆個人消息◆

福山猛師は七月二日午後一時四〇分

埼玉和光市菅野綜合病院にて召天七月五日に告別式を了えられた。

○小出 忍師 東調布教会を辞任し

本間義信師と共に大田区雪ヶ谷大塚

八四にて、連合ホーリネス中央教

会の集會を開始された。

○飯島藤十郎兄はパン食を通じての

食生活の向上と、食品科学振興財団

の設立とその活動を通しての尽力を

認められ、勲二等瑞宝章を受領され

た。以下は非キリスト教誌「コミュ

ニティにしてみました」掲載文を証しと

して紹介いたします。

「安くてよい品を自分で作って売る」

「明るい食生活をつくるヤマザキ」

「いわゆる良品廉価、顧客本位の経営

理念は、キリストの御教えがベース

とわかりました。天与の仕事である

から、精一ばいやる。自分のためでは

ない、と。目下ご療養中と伺いま

した。主の恵み豊かなることをお祈

りし、ご受章を心からお祝い申し上げ

ます。

◆賛助献金感謝

(前号以降)

海老沢宣道 一〇、〇〇〇円

大石 嗣郎 一〇、〇〇〇円

山根 可式 一〇、〇〇〇円

湧江 淳一 一〇、〇〇〇円

以上ですが日本アシュラムの活動のために全国の有志からのご協力を待望しております。

アシュラム生活の最良の友  
アパ・ルーム

(年6回刊行の日々の糧)

国際的、超教派的、靈的な読物

価200円〒70円、年1,620円

発行所(256)小田原市国府津3-11

振替口座(東京)1-193834 アパ・ルーム

日本語版は創刊以来36年続行中

スタンレー・ジョーンズ博士の遺著

B6判 220頁

定価1200円 送料250円

神の然り

〈キリストに明け渡した人生〉

海老沢宣道 訳

日本を愛し、戦後十回の伝道を終え帰米後卒中に倒れた今世紀世界最大の宣教師が死に勝つ勝利の確信を説く万人必読の書。

東京都目黒区中央町1-21-10